

どの年齢層でも発症する可能性のある脳の病気

『てんかん』

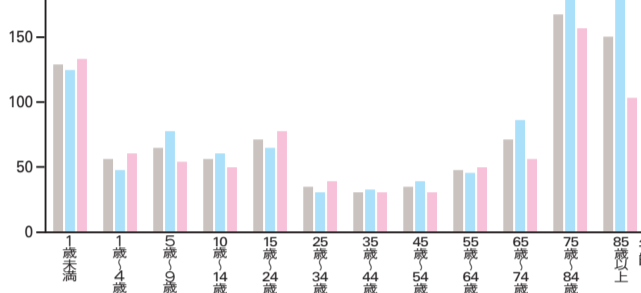
国内の患者は
100人に1人



◆佐藤達哉先生
京都大学医学部卒業。
日本神経学会神経内科専門医。京都大学てんかん/脳波フェローシップ修了

「てんかんは、けいれんを起こして突然意識を失う病気、子どもの病気—というイメージを持っている方が多いかもしれませんが、症状はさまざまで、子どもだけの病気ではありません」と話す脳神経センター大田記念病院 脳神経内科・佐藤達哉先生に、「てんかん」についてお話を聞きました。

〈表①〉 てんかんの年齢別発症数 (※)
(人口10万人あたり)



【高齢者のてんかん 症状チェックリスト】

<input type="checkbox"/> 旅行やイベントなど過去の特定の記憶が抜けている	<input type="checkbox"/> 突然、動作が止まり、短時間一点を見つめてぼーっとする	<input type="checkbox"/> 気付かないうちにケガをしたり事故に遭ったことがある
<input type="checkbox"/> 口をモグモグしたり、舌をペチャペチャ鳴らす	<input type="checkbox"/> 意味もなく、繰り返して服や周りの物をモノヅル	<input type="checkbox"/> 睡眠中目をあけてはいるが、話しかけても反応がない

70歳以上では発症率が増加する傾向があります(表①参照)。

佐藤 救急車の中や病院に着いた時点で症状が収まっていることも多いため、どんな状況でどんな発作が起きたのかを、できるだけ詳しく医師に伝えることが大切です。

最近では、発作時の様子をスマホで撮影して、診察・治療の助けになっています。

Q. てんかんとは、どのような病気ですか。

佐藤 多岐にわたる原因で、脳の神経細胞が異常な電気信号を送り出し、脳の一部に異常な電気が発生し、正常な電気信号のやりとりが乱れ、異常な発火やショートしているような状態になるのが、てんかん発作。この発作が繰り返して起こる慢性の脳の病気「てんかん」です。

てんかんは、炭の火種に例えられることがありますが、一度消しても火種はくすぶり続け、時に勢いを増してパッと燃え盛ることがあります。これがてんかん発作です。

Q. てんかんを発症しやすい年齢層は?

佐藤 てんかんは乳児から高齢者まで、どの年代でも起こりうる病気です。基本的には人種や性別にも関係なく、日本でも100万人以上、つまり人口の約1%、100人に1人の患者さんがいるとされています。特に成人までに起こることが

Q. 原因は何ですか?

佐藤 大きく2つに分けられます。一つは、生れつきで起こる病気です。基本的には人種や性別にも関係なく、日本でも100万人以上、つまり人口の約1%、100人に1人の患者さんがいるとされています。特に成人までに起こることが

Q. 診断にはどのような検査を行うのですか。

佐藤 救急車の中や病院に着いた時点で症状が収まっていることも多いため、どんな状況でどんな発作が起きたのかを、できるだけ詳しく医師に伝えることが大切です。

Q. どんな症状が現れますか。

佐藤 脳の中の原因となる場所によって、症状はさまざまです。例えば、火種があるのが右手の動きを司る場所なら右手が動かなくなる、記憶を司る場所なら発作の間記憶がなくなる、脳全体なる場所なら発作時の様子をスマホで撮影して、診察・治療の助けになります。

Q. 治療法はどのようなものがありますか。

佐藤 基本は抗てんかん薬による治療です。過剰な電気信号を薬でコントロールします。いくつかの種類があるので、効果的な薬を選び、医師と相談して適切な薬を選択します。

Q. 日常生活で注意する点は何ですか。

佐藤 まず、薬をきちんと服用することが大切です。表③の通り、発作を起こさない生活習慣を心掛けてください。

Q. てんかんが疑われる時は、何科を受診しますか。

A. 大人なら脳神経内科、子どもなら小児科で診察を受けましょう。

Q. 発作が起きたとき何か前兆はあるのですか。

A. 中には前兆がある人もいますが、ない人もいます。前兆としては、幻覚、デジャブ(既視感)などがさまざまです。

Q. てんかんと診断されたら、運転はできますか。

A. 薬による治療などを受け、発作が2年間ない等の一定の条件を満たし、医師の診断書があれば運転は可能です。医師としっかり話し合った上で、運転免許を申請しましょう。

Q. てんかんとは、どのような病気ですか。

佐藤 多岐にわたる原因で、脳の神経細胞が異常な電気信号を送り出し、脳の一部に異常な電気が発生し、正常な電気信号のやりとりが乱れ、異常な発火やショートしているような状態になるのが、てんかん発作。この発作が繰り返して起こる慢性の脳の病気「てんかん」です。

Q. てんかんを発症しやすい年齢層は?

佐藤 てんかんは乳児から高齢者まで、どの年代でも起こりうる病気です。基本的には人種や性別にも関係なく、日本でも100万人以上、つまり人口の約1%、100人に1人の患者さんがいるとされています。特に成人までに起こることが

Q. 原因は何ですか?

佐藤 大きく2つに分けられます。一つは、生れつきで起こる病気です。基本的には人種や性別にも関係なく、日本でも100万人以上、つまり人口の約1%、100人に1人の患者さんがいるとされています。特に成人までに起こることが

Q. 診断にはどのような検査を行うのですか。

佐藤 救急車の中や病院に着いた時点で症状が収まっていることも多いため、どんな状況でどんな発作が起きたのかを、できるだけ詳しく医師に伝えることが大切です。

Q. どんな症状が現れますか。

佐藤 脳の中の原因となる場所によって、症状はさまざまです。例えば、火種があるのが右手の動きを司る場所なら右手が動かなくなる、記憶を司る場所なら発作の間記憶がなくなる、脳全体なる場所なら発作時の様子をスマホで撮影して、診察・治療の助けになります。

Q. 治療法はどのようなものがありますか。

佐藤 基本は抗てんかん薬による治療です。過剰な電気信号を薬でコントロールします。いくつかの種類があるので、効果的な薬を選び、医師と相談して適切な薬を選択します。

Q. 日常生活で注意する点は何ですか。

佐藤 まず、薬をきちんと服用することが大切です。表③の通り、発作を起こさない生活習慣を心掛けてください。

日常生活の注意点

- 薬をきちんと服用すること
飲み忘れが発作の原因になることも
- 寝不足を避ける
寝不足は発作の引き金に。翌日に疲労を残さないよう、6時間以上は睡眠を
- 深酒はNG
お酒も発作の引き金になります
- 湯船につからず、シャワーに
湯船で発作を起こすと溺れる可能性があるため、原則シャワーに。もし湯船につかるなら見守りの下で。また、転んでケガをしないようにマットを敷くなどの工夫を
- 運動は主治医と相談の上で
水泳、ダイビング、ロッククライミング、登山などは発作が起きると危険。事前に医師と相談を
- 転落の危険性のある場所は避ける
てんかん発作そのものはほとんど命に関わるものではありませんが、意識を失うことによるケガや事故には注意が必要。高い場所や水際、列車のホームの一番前などは避けましょう

備後の「まち」と「ひと」ともに未来へ。

最新情報は Facebook で!

SHOUWAKAI
社会医療法人 祥和会
脳神経センター大田記念病院
Brain Attack Center Ota Memorial Hospital

広島県福山市沖野上町 3-6-28 〒720-0825
☎084-931-8650(代) FAX.084-926-6798

福山市南部における地域包括ケアの構築をめざす祥和会グループ
社会医療法人祥和会

- 脳神経センター大田記念病院
- 沖野上クリニック
- 祥和会訪問看護ステーション幕山台出張所
- 祥和会居宅介護支援事業所
- 明神館クリニック
- 祥和会訪問看護ステーション
- 暮らしの保健室ふくまち 幕山台
- 福山脳血管医学研究所

診療受付		
平日	新患・予約のない方	8:30~10:30 / 13:30~16:00
	再来	予約制(8:00~16:00)
土曜	新患・予約のない方	8:30~11:00 / 午後休診
	再来	予約制(8:00~11:00)

●当院は、入院を要する重症の患者さんに対し、24時間365日の医療を提供しています(二次救急医療機関)。

[診療科目] 脳神経外科 ■ 脳神経内科 ■ 脊椎脊髄外科 ■ 外科 ■ 整形外科 ■ 循環器内科 ■ 救急科 ■ 麻酔科(佐藤倫由) ■ 放射線科 ■ リハビリテーション科 ■ 内科 ■ 形成外科 ■ 小児神経科 ■ 皮膚科(入院のみ) ■ 泌尿器科(紹介のみ) ■ 歯科(紹介・入院のみ)

- 社会福祉法人祥和会
- 地域密着型特別養護老人ホーム 五本松の家
 - ショートステイ 五本松の家
 - デイサービス 五本松の家
 - 暮らしの保健室ふくまち 五本松